

【皮膚科】

皮膚がんや頭部血管肉腫などに対する化学療法や手術を行っています。皮膚がんは、進行が早く終末期に移行することもありホスピスへの転院調整等を行っています。難治性潰瘍などの皮膚疾患には軟膏を用いて治療しています。



医師による
軟膏処置を
毎日行っています。
(傷の状態により異
なります)

看護師も
処置介助を
行います。

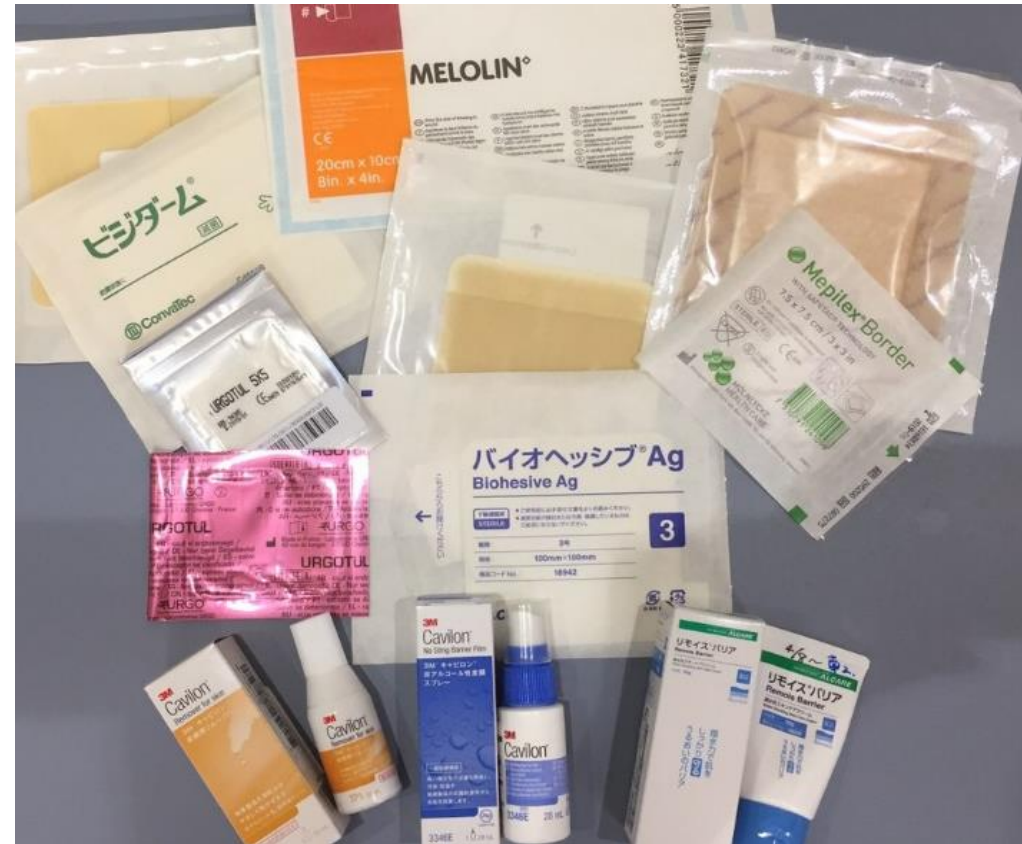


※患者さんの許可を得て撮影しています

皮膚科 処置について

皮膚科・形成外科では、傷の状態を毎日観察し状態に応じて適切な被覆剤を使用しています。

処置室は、ナースステーション横にあり、主に皮膚科・形成外科で使用しています。傷を流水で流したり、処置中にも洗えるよう、簡易のシャワーを設けています。

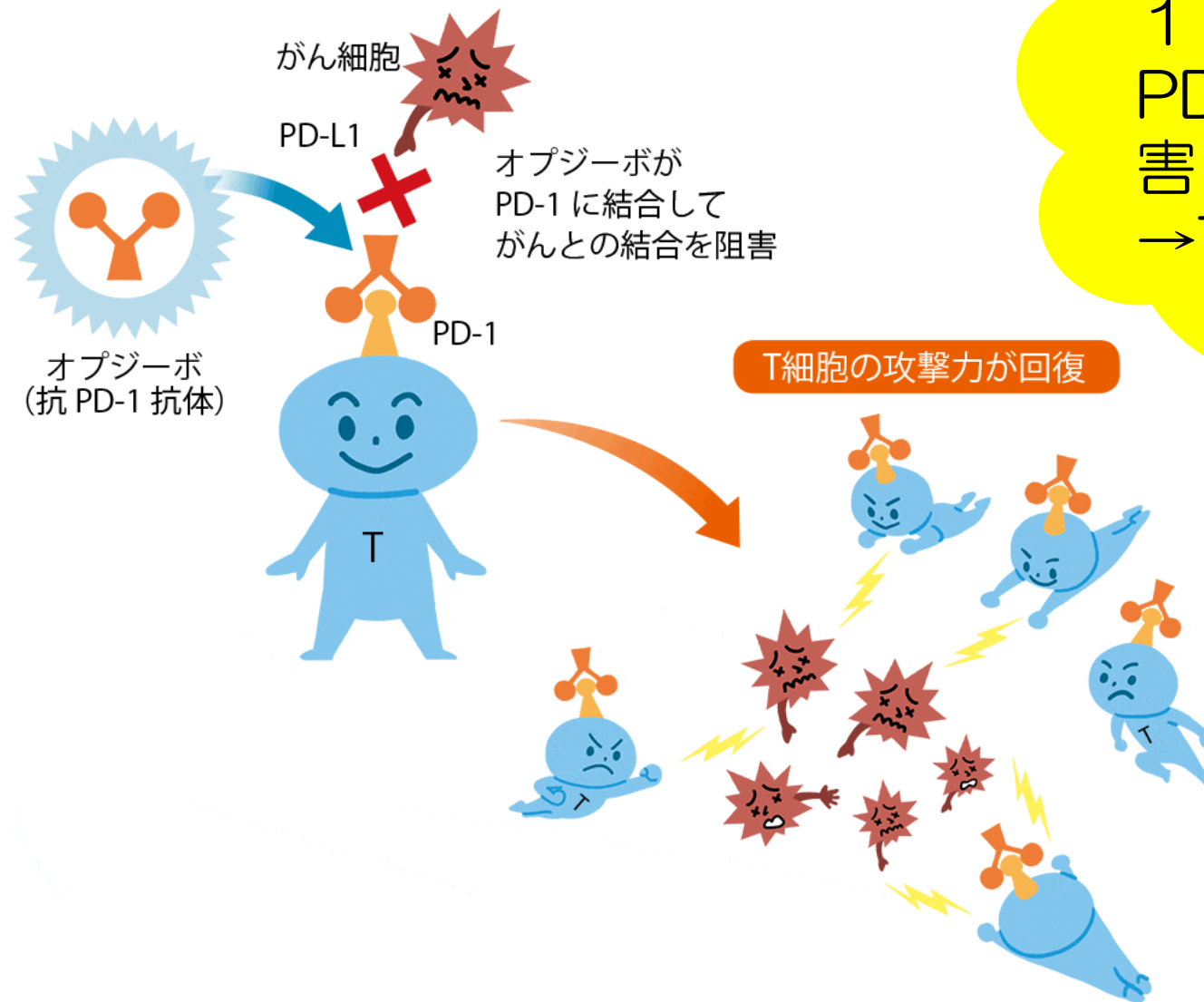


オプジーボとは？

私達がもともと持っている免疫の力を回復させることでがんへの攻撃力を高める、これまでとは異なるメカニズムに基づく“がん免疫療法”の治療薬です。



オプジーボの作用



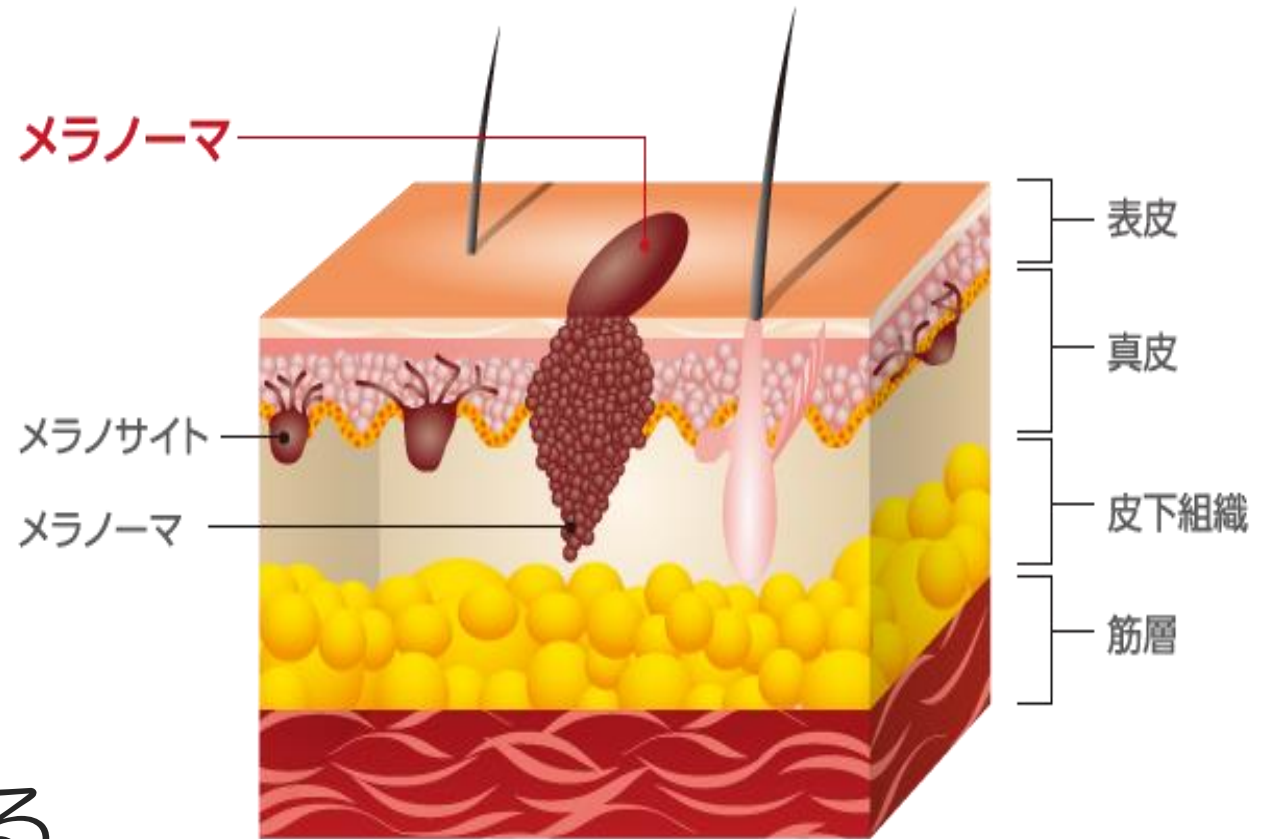
オプジーボがT細胞のPD-1と結合することにより、PD-1とがんとの結合を阻害！
→T細胞の攻撃力が回復

皮膚科では悪性黒色腫に オプジーボを使用

悪性黒色腫：皮膚がんのうち、皮膚のメラニンという色素を作る色素細胞（メラノサイト）やほくろの細胞（母斑細胞）ががん化したもの

【治療】

手術が主体となる。
手術が難しい場合や
他の場所にがんが
広がっている場合は
薬物療法が考慮される。



MSD製薬ホームページ引用

【形成外科】

形成外科では、乳がんに対して乳房再建術や、熱傷・先天性疾患である口唇口蓋裂・褥瘡(床ずれ)などの手術を行っています。そのため、手術後の全身麻酔管理や、ボディイメージの変化に伴う精神的ケアが重要となります。チームメンバーで協力して精神的ケアを行っています。

(画像 3Mジャパンヘルスケアカンパニー ホームページ引用)

VAC療法



パートナーの看護師と薬剤・流量などを確認し患者さんに安全に投与できるよう準備します。1年目看護師は先輩と指示簿を確認します。



熱傷ベッドについて

熱傷（やけど）で全身に痛みがあり動けない、また麻痺などにより身体を動かさない患者さんが褥瘡(床ずれ)予防のために使用するベッドです。

ベッドの下から上方向に空気のかでビーズを流動させることで、身体が水に浮いているような環境を作り皮膚が体重で圧迫されるのを和らげることができます。

(ウォーターベッドに近く、浮いている感じのため酔ってしまう患者さんが時々います)



【初期診療救急科】

心疾患・意識消失・急性中毒・頭部外傷・脳血管疾患・骨折・肺炎など、緊急性のある患者さんが救急搬送され、救急外来を受診されます。多種多様な疾患で緊急入院され、状態が急激に悪化することもあるため、BLS(一次救命処置)などの勉強会を開いて急変にも対応できるようにしています。



BLS(一次救命処置)勉強会の様子

挿管の様子



胸骨圧迫の様子



病棟での活動

～医師・看護師の連携～



初期診療・救急科では、より迅速な治療ができるよう医師と看護師で毎朝回診を行い、情報共有を行っています。

毎日看護師間でカンファレンスを行い、問題点の改善策や必要な看護について話し合います。

また、医師・看護師・薬剤師など他職種にてカンファレンスを行い、治療方針の決定を行っています。



※患者さんの許可を得て撮影しています

若手職員紹介

●南二さん

●入職2年目、南2階

●主な仕事内容

- ・ラウンド(検温・点滴管理・創部状態の観察)
- ・保清(清拭・洗髪・陰部洗浄・介助SW)
- ・化学療法時の点滴投与・VS測定・モニター管理
- ・手術(術前オリエンテーション・手術出し・術後の管理)
- ・処置介助



包交車

朝のラウンド風景



南二さんのある1日

- 08:15 ● 夜勤帯からの申し送り
- 09:00 ● 病棟業務(検温、保清など)
- 12:30 ● 昼休憩
- 13:30 ● 昼のカンファレンス
- 17:00 ● 退勤
- 19:00 ● 帰宅、炊事、夕食
- 23:00 ● 就寝

仕事をするうえで大切にしていること

効率よく業務を行うために優先順位を考えて1日のスケジュールを立てています。また、パートナーナーシングシップ(PNS)を導入しているため、コミュニケーションをとり、円滑に仕事を進めるように意識しています。さまざまな疾病、社会的背景を持った方がいるため、それぞれに合った看護を実施するよう心がけ、丁寧に接することを大切にしています。

1つのミスが患者さんの生命にかかわる危険を生む可能性があるため、ダブルチェックや多職種との連携により、安全に業務を行えるよう緊張感を持って日々働いています。

メッセージ

南2階は複数の診療科が入っているため、さまざまな疾患の患者さんを担当し日々勉強を積み重ねながらケアをしています。

また、明るく和気あいあいとした楽しい病棟で、フレンドリーな先輩が多く、わからないことは質問しやすい環境です。忙しい時もペア間、チーム間で協力して看護を実践しています。

命に関わる仕事のため、大変なこともあります。やりがいのある仕事だと思えます。これから看護師になれる皆さん、ぜひ私たちと一緒に働きましょう。